

# SINAPIS



Vol.  
75

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

## 月刊シナピスニュースレター

2022.8

年間テーマ ～ 互いに耳を傾けよう ～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人にあよび、互いに尊重し合い、受け合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪大司教区  
社会活動センター・シナピス

TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203

Email/sinapis@osaka.catholic.jp

ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

今月のテーマ

平和への道

タイトル：戦争がもたらすもの

(大阪教区本部事務局玄関 ディスプレイ)

玉造教会 ヌノ・リマ神父

平和はだれにとっても大切なことですが、イエス様を信じるわたしたちにとって復活されたイエス様が教会に残された賜物です。復活の日の夕方、イエス様が弟子たちの前に現れ、「あなたがたに平和があるように」とおっしゃって、ご自分の手と脇腹をお見せになりました。

十字架の出来事を理解できずに閉じこもっていた弟子たちに、傷跡を見せて「シャローム」とおっしゃいました。「シャローム」とはヘブライ語の「平和」を意味する言葉です。

「シャローム」はユダヤ人にとって普通に交わされる挨拶です。普通に、何も無い時に、ただの挨拶の「シャローム」は記憶に残りません。しかし、この時の「シャローム」は弟子たちの心に印象深く残りました。ただの挨拶ではなかったからです。弟子たちの心を癒す平和の約束でした。

イエス様の傷跡は十字架にかけられたしるしです。イエス様は十字架ですべての暴力の犠牲者に連帯を表しています。残念ながら、悲慘な暴力は終わっていません。

今日も、ウクライナなどの戦争で悲慘な暴力が続いています。それをとめるためにはわたしたちができることは少ないかもしれませんが、少なくとも「平和がありますように」と祈ることができます。これは一日も早くウクライナなどに平和が訪れますようにと祈るとともに一人ひとりが復活されたイエス様が遺してくださった賜物を大切に、それぞれの場で平和の道具になるように祈ることです。それを実現できたら、平和の輪が広がっていきます。

ウクライナのためにも、私たちのためにも、この「シャローム」を大切にしたいと思います。



### ニュースレター 目次

- 1 巻頭言
- 2 子どもの本で平和をつくる④
- 3 子どもたちに伝えたい平和
- 5 開かれた宣教  
～今も消えることのない希望と光～
- 7 障がい者委員会より
- 8 時報8月号より
- 11 助けあう
- 12 祈りのつどい報告
- 13 ホームだより
- 15 ワタシたちハニングENDA!!
- 17 みんなのけいじばん
- 21 戦争と平和を考えるテレビ番組の紹介
- 22 シナピスの風
- 23 あとがき

### チラシ・ご案内

- ・シナピスの風
- ・8月の祈り
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・第2回祖父母と高齢者のための世界祈願日 教皇メッセージ
- ・2022年平和旬間 日本カトリック司教協議会 会長談話
- ・日本カトリック司教協議会会長談話 安倍晋三元総理大臣の逝去に際して
- ・シナピス工房サマーカタログ
- ・we are カリタス NO.25
- ・幣原喜重郎生誕150周年記念 平和への願い 演劇&クラシック音楽で語る生涯
- ・戦争・平和・難民&愛と償いの絵画展
- ・甲東平和を考える会 平和学習会のご案内

### 年間テーマ

#### ～互いに耳を傾けよう～

これは教皇フランシスコが数々のメッセージの中で、私たちに何度も呼びかけていることばです。身近なことから世界に至るまで、互いを思いやれないことで生じる衝突が後を絶ちません。この言葉を受け、交わりを通して互いを理解し尊重しあえる平和の実現を目指します。このニュースが皆さまと一っしょに考え、わかちあいの場となることを願っています。

# 子どもの本で平和をつくる ④

多湖敬子



## 字のないはがき

原作：向田邦子

作：角田光代

絵：西加奈子

出版社：小学館

価格：¥1500+税

向田邦子さんの「字のない葉書」（『眠る盃』所収 1979年講談社）が原作で、戦争中の、向田さん一家のちいさい妹と、いつも怖いお父さんのエピソードを綴った実話の絵本です。

戦争が激しくなってきたころ、向田さんの家の小さい妹も、疎開することになります。お母さんは肌着一枚いちまいに名札を縫い付け、お父さんはたくさんの葉書のあて名に自分の住所と名前を書きました。それらをちいさい妹に持たせたのです。ちいさい妹はまだ字が書けないからです。

『げんきな日は、はがきに まるをかいて、まいにち いちまいずつ ポストにいれなさい』と、お父さんは言いました。一週間くらいたったころ、葉書が届き、はがきいっぱいみ出すくらい大きな赤えんぴつの○が書いてありました。「いなかには、こことちがって、おいしいたべものが まだまだあるんだね、だから こんなに げんきなんだね、と わたしたちは あんしんして はなしました。」ところが、次の日から○は急に小さくなりました。黒鉛筆の○です。そのうち小さな○は×になり、とうとう葉書も来なくなってしまったのです。

お母さんはちいさい妹を迎えにいくことになりました。

（『』は会話文 「」は地の文 本文より）

この絵本に、戦場の描写はありませんが、多くの人を経験したであろうごく普通の家庭の、日常の中に忍び寄る戦争の暗い影が如実に表れています。戦争とは、普通の暮らしが壊されていくことです。

第二次大戦後も、ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争、中東やアフリカ諸国の内戦 etc.世界で起こる紛争は絶えることがありません。そして現在、ロシアのウクライナ侵攻が・・・

どうすれば ~互いに耳を傾けて平和への道を~ 進むことができるのでしょうか？

谷川俊太郎さんへのインタビュー番組（NHK ニュースおはよう日本 2022. 6. 7）の中で、「へいわとせんそう」を読んだ家族の話がありました。おかあさんがこの絵本を選んだきっかけは6歳のTくんの発言でした。

「ロシアがあればこうげきしていたら、ウクライナがやり返して、ロシアの子どもとか赤ちゃんとかが傷ついてもしょうがないよね。それぐらいやってる」そこで、お母さんはTくと姉のWちゃん（8）と一緒に絵本を読むことにしました。Wちゃん「戦争に行きたくて行ってるんじゃない。人を殺したくて行ってるんじゃない」Tくん「戦争に行けていう人が悪い。ロシアの中でも（銃）を打ちたくない人もいる。何年か後に『ウクライナにこんなことをしてしまった』と思う人もいるかもしれない」

この絵本は、平和の○○ 戦争の○○と「へいわ」と「せんそう」を対比させた絵が続きます。最後のページは、「みかたのあかちゃん」と「てきのあかちゃん」。ここは、谷川さんが最も大切にしたい表現だったそうです。

読み終わった後、Tくんの考えは変わっていました。

「ウクライナの赤ちゃんが傷ついているのもだめなんだけど、ロシアの赤ちゃんだって何も悪いことしていないから、同じ赤ちゃんだから」

Tくんのお母さんの言葉「戦争に対してまひしていくのが怖かった」

改めて、絵本の持つ力と子どもの感性の素晴らしさに感嘆しました。



## へいわとせんそう

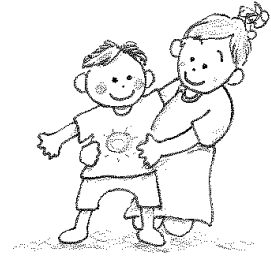
ぶん：たにかわしゅんたろう

え：Noritake

出版社：ブロンズ新社

価格：¥1200+税

# 子どもたちに 伝えたい平和



## 「父母を偲んで」

仁豊野教会信徒  
楠田 昭子

14歳のころの夏休み、父に被爆体験についてたずねた。怒りいっぱいの顔、そして大声で「戦争の話はするな！」と叱られた。いつも人を笑わせることが好きな父とは、にても似つかぬ怒り顔にびっくり。それ以来、戦争に関して話してはいけないと自分に言いかけた。その時“変なお父さん”という感情を抱いたことを鮮明に覚えている。そして8月6日広島で行われる原爆記念日の式典時、テレビの放映8時15分「黙祷」の聲に、父母は必ず西の方に向かい手を合わせていた。二人の会話は全くなく、そんな両親の行動を理解しようとも思っていなかった。後々に、なぜ西の方？そうか、原爆ドームの方向だ、と気づかされた。

阪神淡路大震災、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故による悲惨なできごとにPTSD（心的外傷性ストレス障害）という言葉が語られるようになった。父母は、戦争を体験したことで心が痛み口にすることさえできなかったのだ。父母の想いにやっと気づき今では申しわけない思いでいっぱいだ。

また30歳を過ぎたころ、母がポツンと言った言葉を思い出す。「芳子の体が心配。自分は老いるし、芳子が死んだら、あの子どもたちはどうなるのか……」と。ハツとした。戦後に生まれた妹の体を心配していたのだ。反射的に「大丈夫。私が面倒みるから」と強がりを見た。母は父の体、妹の体を心の奥ですずっと心配しながら生きていたのだ。初めて聞いたあの言葉は、今でも時々想いおこされる。里帰りしたある日、父が「こんなものが背中から出てきた」と笑顔で見せてくれた。わたしは驚いた。

昭和63年11月16日  
午前11時10分  
高橋医院にて摘出  
八本松町原  
昭和20年8月6日 午前11時  
西部2部隊乗馬中隊事務室  
にて被爆（週番下士）  
（43年3カ月 背中にあり）



と書いた紙、縦横1cm余りの父の体から摘出されたガラスの破片が、ケースに収まっていた。

戦前、家族は神戸に住んでいたため、被爆したのは家族のうち広島にいた父のみ。父は被爆により体の傷や歯肉出血でずいぶん苦しんだ様子。そんな大変な時期のことも叔父から聞き、父のケロイドからその傷の深さなどを察した。今思えば、父母はあの頃、やっと戦争というトラウマから解き放たれつつあったのではないかと思う。

広島と同級生の何人かは、被爆手帳を持っている。ある友は、娘さんの結婚相手のご両親から「広島の人には避けてほしい」との言葉に「絶対に被爆手帳を使わないで」と娘さんから言われたとのこと。また他の友は、兄は手帳を持っていたが、当時、女は手帳を持たない方が良く実母の判断で手帳の申請をしていなかった。結婚し子どもたちがひとり立ちして自分の意志で申請、手帳を手にしたとか。被爆したということは世間から差別を受けるなど、後々まで影響を与えている。

1981年、教皇として初めて来日されたヨハネ・パウロ二世は「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です」、そして「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことです」と訴えられた。核兵器廃絶キャンペーン活動家サーロー節子さんは、ノーベル平和賞記念講演スピーチで「その一人ひとりには名前がありました。一人ひとりが誰かに愛されていました。彼らの死を無駄にしてはなりません」と命の大切さを説いている。わたしはもうすぐ80才。最近とくに、両親のことが思いおこされる。夏がおとずれるごと、戦争は二度とくり返してはいけなさと、強く思うようになる。

若い人たちに訴えたい。子どもたちに訴えたい。「命を大切にしてください」自分のいのちも、周りの人のいのちも、そして世界じゅうの人たちのいのちを。過去の失敗から学んだことを生かしてほしい。問題解決に武器を用いるのではなく、話し合ってください。あきらめないで対話しつづけてください。世界中の人々が笑顔で平和に過ごせるように心から祈ります。



メモ、縦横 1cm あまりのガラス片をしまっていた父のネクタイピンケース



広島原爆死没者慰霊碑に刻まれた文字

**安らかに眠って下さい  
過ちは  
繰返させぬから**

写真はすべて楠田さん提供

# 開かれた宣教 ～今も消えることのない希望と光～

## 信徒の心の遺産として

夙川教会は神への従順を貫いた殉教者、初代主任司祭ブスケ神父様への思いも新たに平和旬間を迎えます。ミサの他、「平和旬間メッセージ・ツリー」「家族とともに平和を考える図書コーナー」を企画しました。ブスケ神父様は人々の集まりを築く場所として教会を開きましたが、その開かれた宣教は戦争という閉ざされた社会状況によって迫害を受け殉教されました。しかし開かれた心は消えることの無い友情を生み、長い年月を経て「肖像画」という形で表れました。画はブスケ神父様の献堂なされた聖堂と共に、夙川教会信徒の心の遺産として福音宣教への希望の光となっています。教区の皆様も是非神父様の宣教への祈りと友愛に満ちた夙川教会に足を運んで頂ければ幸いです。

夙川教会創立 100 年の歳月を経た今もなお、教会のレジェンドとして敬愛され、語り継がれているブスケ神父様の遺徳を偲び紹介させていただきます。

夙川教会信徒 ただ あつこ 谷田 厚子

## 夙川教会信徒 いおき べくにお 五百旗頭邦夫さん 手記より

### ●西宮夙川教会創立



戦時中供出された鐘楼の大時計

1921年10月 カスタニエ司教は阪神間初の教会設立をブスケ神父に託した。翌月神父は西宮市役所近くの借家で初ミサを捧げる。西宮はえべっさん（戎神社）を中心に発展した古い町で、キリスト教になじみやすい環境ではなかったため、神父は2年後当時郊外住宅地として開発されつつあった夙川に用地を購入した。同時期神戸では居留地教会が中山手へ新設移転した直後で空き家となった旧聖堂を貰い受け仮聖堂としていた。それからの9年間ブスケ神父は命がけで新教会建設に取り組む。毎朝3～4時起床、6時のミサまで聖体に祈り、黙想し、説教では神の愛を涙ながらに説き、計画実現のため全信徒に犠牲と応分の協力を求め、布教地の保護者、幼きイエスの聖テレジアに執りなしを願った。当初、大聖堂は分不相応、時期尚早と多くの批判を受け、司教も難色を示したが、神父はこれこそ神のみ旨であると不撓の精神とたゆまぬ情熱とで計画を推進し、聖堂を1932年4月に完成させた。神父はかねてより「すべての事業には犠

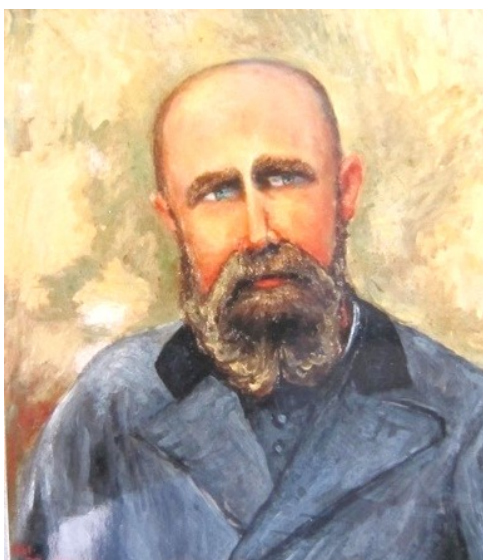
牲の裏付けが必要である」と語っていたが、翌1933年2月敗血症が悪化し、脚部数か所の切開手術を受けた。

信者の献血を受け、「私の体は日本人の血を受けて日本人になった」と喜んだというが、その年の聖週間に危篤状態におちいり、病者の塗油を受け、同僚や信徒は別れの挨拶に訪れた。親友マルモニエ神父は「ブスケ神父を救い、私を身代わりに死なせてください」と主に願った。4月16日復活祭の朝、香里教会で説教の準備をしていたマルモニエ神父は脳卒中のため急逝し、以後ブスケ神父は危機を脱し徐々に回復に向かった。

その後約1年間、神父は函館のトラピスト修道院と故国フランスで静養した後、野江(現・関目)  
教会主任となり、永田辰之助<sup>ながたつのおすけ</sup>神父が夙川の後継者となった。

### ●殉教者ブスケ神父

太平洋戦争最中の1943年2月16日、ブスケ神父は北野教会を急襲した大阪憲兵隊により逮捕・連行された。その約1年前、一人のインテリ風青年が神父を訪ねキリスト教指南を求めた。神父は喜んで教会に迎え入れて公教要理を教え、青年は神父の発言を克明にメモした。青年は1年後に洗礼を受け、聖体拝領に及ぶが、実は彼は軍部から送り込まれたスパイであった。人を疑わない性格の神父は神への信仰を包み隠さず吐露し、「天皇は神か」との質問に「ノー」と答え訴追の証拠を提供してしまう。酷寒2月の監獄での厳しい尋問中、神父は自分が洗礼を受けた青年が

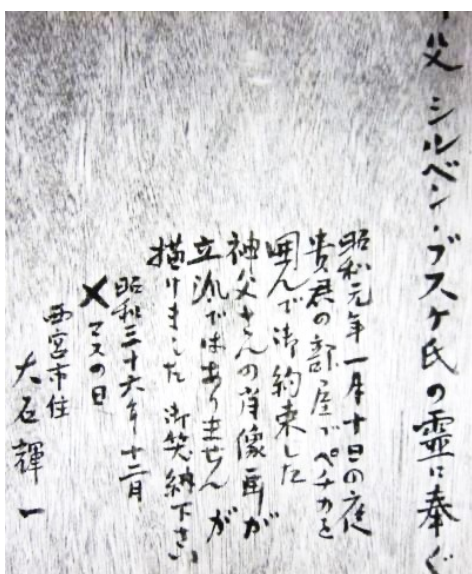


ブスケ神父様 肖像画

証人として現れたのに驚愕し、そのショックで精神錯乱に陥ったため、3月初めに精神病院に移送され、そこで肺炎を発症した。

3月10日北野教会助任デユレキュ神父は憲兵の訪問を受け、ブスケ神父が病氣なので来てくれと云われて、枚方の中宮病院に同行し、医師からブスケ神父は急性肺炎のため死亡したと告げられた。憲兵は神父の遺体引き取りを命じたが、死の公表は禁止し、葬儀には仏人同僚司祭4人と少数の関係者の出席しか認めなかった。葬儀後は直ちに棺を土中に埋まるのを確認して引きあげた。死は終戦まで公表されず、6年後豊中から夙川に遺体が移送された際の追悼ミサで田口司教は「ブスケ神父は殉教者であった」と弔辞を述べた。

### ●大石画伯との交友



大石画伯の献辞

ブスケ神父は関東大震災後東京から関西に引き揚げた画家大石輝一に個展の場を提供し、二人の交友が始まった。画伯はお礼にブスケ神父の肖像を描くと約束し、神父の死後18年を経た1961年のクリスマスに「昭和元年1月10日の夜、貴君の部屋でペチカを囲んで御約束した神父さんの肖像画が立派ではありませんが描きました。ご笑納ください」との献辞とともに夙川教会主任西村神父に届けた。画伯はこの頃建設中の芸術を愛する若者のための三田アートガーデンに、ゴッホ、柳宗悦、ロマン・ロランの業績をたたえる碑とともに「殉教者・ブスケ師の記念像」(等身大塑像)を建てている。わたしたちは大石画伯を教会外からのブスケ神父顕彰の唱道者と呼ぶべきであろう。

## 名前には、ふりがなをつけましょう！！

障がい者委員会 たけがま ゆうこ 獄崎 裕子

日本語の漢字は、いろいろな読み方があります。一般には中国から渡来時の発音がそのまま日本語風になまった読み方の音、漢字の意味に対応して日本語訳となった訓。この二つの他にも、複雑な読み方を抱える漢字です。(角川書店 漢和辞典より)

日本人の名前、多くは漢字で書かれています。その人の名前は、ただ一つで、生まれて戸籍に載せた時から読み方もただ一つです。

点訳ボランティア(点字は、すべてひらがなで表します)をしていると、一番困るのが、名前の読み方です。地名などの読み方は、調べればわかりますが、名前はわかりません。発信元に聞いても、「さあ？」です。漢字で表記してあればもうそれで終わり、「読み方はどうぞご自分で、好きに読んでください」というふうに思えます。そこに書かれている方の人権すらも否定されているようにも感じます。

たった一つの名前の読み方を大切にすることは、人そのものを大切にする第一歩なのではないでしょうか。

最近、難しい名前には、ふり仮名がついているときもありますが、実は簡単な漢字でも、読み方が何種類もある場合もあります。また姓名の名の部分においては、漢字の読み方、音訓以外の読み方を無理につけた場合もあります。

皆さんは、一人一人の名前を正しく認識して読んでおられますか？それとも、読み飛ばしておられますか？

広報誌のなかに、無造作に書かれている名前、もう一度深く考えてみる必要があります。広報誌に書かれる名前にすべてふりがながついているようになると、小さなことですが、人権を意識することになると思います。

日本人ばかりでなく、韓国人・中国人の方の名前も同じです。漢字で書いてあっても、日本人では読めません。必ずふりがなが必要だと思います。こんな小さなことからでも、友好関係が生まれます。

名前の読み方を大切にすることを、立ち止まって考えてみませんか!!

いずみ うみお  
泉 海男



やまの なつこ  
山野 夏子



イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、  
その悩みを少しでも分かち合うことのできる、  
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」  
増補新版より



A Road to Peace :  
Listening to One Another  
互いに耳を傾けて平和への道を



コロナウイルス感染症の影響で開催が中止される場合もありますので、各開催場所へお問い合わせください。

◆姫路西ブロック(相生・赤穂・網干・飾磨・たつの)

連絡先・場所：各小教区へ  
黙想とミサ 司祭による講話など

◆姫路 ☎079-222-0043 8/6(土)～8/15(月) テーマ「平和への祈りをミサでつなごう」  
月・火・木・金・土曜7:00～ 水曜18:00～ 日曜7:00・9:00・11:00・15:00(英語)～  
7月中に信徒全員に平和への祈り(共同祈願)を募集し、寄せられた祈りを10日間に振り分け、毎日のミサの中でともに祈る。

◆仁豊野 ☎079-264-0040 8/7(日) 9:00～11:00 テーマ「私たちは、だれに耳を傾けるべきなのでしょう」平和祈願ミサ(テーマに関する思いの記された短冊奉納)  
DVD鑑賞「いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、せんそうせんけえね～」その後、分かち合い  
※7/31(日)DVD鑑賞(教会学校生、関係者他)

◆姫路东ブロック(加古川・西脇)

☎079-422-2870 場所：加古川教会  
平和祈願ミサ8/7(日)・14(日)・21(日)・28(日) 9:30～ 「違いを認め合い、一人ひとりの命を大切に、戦争のない平和な世界にしよう」  
司式：アルマンド・ロメロ神父  
※コロナ感染防止で密を避けるため4回の主日に行く。

◆芦屋 ☎0797-22-3982 8/6(土)

「沖縄返還50年を迎えて」  
<1部>9:00～9:30 平和への祈り  
場所：芦屋市役所北広場(雨天決行) 司式：若林一義 牧師  
<2部>10:30～12:00 平和の集い 歌と朗読劇  
場所：芦屋教会聖堂 主催：芦屋キリスト教協議会  
共催：社会活動委員会

◆夙川 ☎0798-22-1649

・8/6(土)～15(月) 和旬間日記2022とピース  
ツリーづくり  
・8/7(日) 10:00～平和祈願ミサ  
・8/14(日) 11:30～13:00 講演会  
講師：ビスカルド篤子さん(シナピス職員)  
・7/17(日)～8/31(水) 信徒会館1階  
「家族とともに平和を考える図書コーナー」開催

◆仁川 ☎0798-51-0176 8/14(日)

9:00～主司式：谷崎 新一郎神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会日本管区長)今年「平和旬間」が定められてちょうど40年。奇しくも聖コルベの祭日(8/14)が平和旬間中の主日と重なる。周囲に平和をもたらした神父の「身代わりの愛の殉教」から、「戦争」がもたらす悲惨さと「平和への道」を学び、ともに祈る。

◆尼崎 ☎06-6481-4235 8/7(日)

①主日ミサ前に信徒でロザリオの祈り一連(アッンジの聖フランシスコ「平和の祈り」、「平和と罪の赦し」、「サルベ・レジナ」含む)  
②9:30～10:30 ミサ 司式：ロッコ・ヴィヴィアーノ神父 共同祈願：信徒から募集した平和祈願を追加。③10:35～10:45 動画供覧 故小崎登明(おさきとうめい)修道士(聖母の騎士修道院/長崎原子爆弾被爆者)の話

◆伊丹 ☎072-772-2487 8/14(日)

10:30～ 講師：篠原富美子さん(国家資格キャリアコンサルタント)

◆武庫之荘 ☎06-6431-7029 8/14(日)  
9:30～10:30 教区共通テーマに沿った内容で、御ミサ中で講話いただき、分かち合いを行う。  
講師：主任司祭 ヘスス・モラレス神父  
さまざまな視点から平和を学ぶ【展示】  
・[活動]のパネル ACTION▶シナピスやカリタスなどのカトリックの活動と、民間の活動に NGO や個人で活動している方の声を紹介する。  
・「祈り」のパネル PRAYERS▶イスラム教や仏教の平和について、沖縄からの声や絵を紹介し、平和を求める祈りの絵も展示する。

◆吹田 ☎06-6388-1083 8/15(日)  
平和祈願ミサ祈願ミサ  
ウクライナ紛争が早く終息を迎える事 それとコロナの感染も治る事を願い霊的花束を(祈り)計画。

◆北地区(今市・大阪梅田・門真・香里・関目・大東・枚方) ☎06-6371-4060  
8/13(土)14:00～  
場所：カトリック大阪梅田教会  
テーマ「キリスト者としてのあなたにとっての平和」7人の方にそれぞれの立場から語っていただき、平和への想いに耳を傾ける。  
平和祈願ミサ 15:30～  
司式：酒井俊弘補佐司教

◆堺 ☎072-252-1498 8/7(日)  
10:00～ミサ 11:00～12:00 DVD 上映  
「戦争童画集～75年目のショートストーリー」  
(作曲家：坂本龍一、女優：吉永小百合、映画監督：山田洋次)

◆なみはや ☎06-6551-6253 8/14(日)  
10:00～平和祈願ミサ  
11:00～「真を写す あるポートピアルの生を追体験する」 お話：武永英貴さん(元ベトナム難民) 生と死の淵をさまようあるポートピアルの記録と記憶をたどり、平和を願う。

◆玉造 ☎06-6941-2332 8/7(日)  
ミサ後 テーマ「戦争を知り、平和を考えよう」  
国内外の戦争体験者の話を聞いた後、子どもたちを交え分かち合い。

◆住之江 ☎06-6681-1895 8/7(日)  
ミサ後 テーマ：「私は平和を築くためにどう行動するか」シベリア抑留者の証言動画を視聴し太平洋戦争やベトナム戦争などの体験または見聞談を外国人を含め発表いただき、戦争の悲惨さを学び、私たちは平和を築くためにどのように行動をするべきか分かち合いを通して決意する機会にしたい。

10:00～10:40 YouTube 動画「行く先も分からずに」を視聴(シベリア抑留者の証言)  
10:40～11:20 太平洋戦争(吉村登行(とこう)さん)ベトナム戦争(サイモンさん)の体験談や体験者又は親族者から見聞きしたことを発表。  
11:20～11:45 分かち合い(動画視聴や体験談を聞いて、私は平和を築くためにどのように行動するかとの視点)  
11:45～12:00 平和への決意を色紙に書く(8/15 聖母被昇天のミサで奉納) 祈り

◆岬 ☎072-482-3668(泉南) 8/6(土)  
テーマ「信仰と祈りによる励ましと平和への願い」  
17:00～17:15 ロザリオの祈り  
17:20～17:40 講話：最頼巖流神父  
17:45～18:00 聖体降福式  
18:00～18:40 平和祈願ミサ

◆泉南 ☎072-482-3668 8/14(日)  
9:40～10:40 テーマ「水瓶を運ぶ人に導かれて」DVD鑑賞 古巣馨(かおる)神父(長崎教区)のお話

◆紀の川 ☎0736-60-8712 8/7(日)  
10:30～12:00 ミサ・講話  
講師：最頼巖流(もよりがなりゅう)神父  
平和を願う祈り(アシジの聖フランシスコ)講話後、信徒は折り紙に思う気持ちを書き、折り鶴を作る。また折り紙を持ち帰る人は、祈りを込め鶴を折り次の週に持って来る。  
8/15(月)18:00～ ミサで奉納



◆**浜寺** ☎072-261-1563 8/14(日)  
お話：中高生会リーダー伊原 均(ひとし)さん  
「岸和田地区 YOUTH の平和体験学習」(8/11 開催)として和歌山県にある友ヶ島でおこなったデイ・キャンプの様子のお話していただく。

平和への願い・目標を書き、翌日 8/15 の聖母被昇天祭のミサにて奉納する。

◆**岸和田** ☎072-437-3308 8/21(日)  
10:50～ 場所：聖母幼稚園 リズム室  
ユース：「平和体験学習 in 友ヶ島」参加者の発表

日曜学校：子どもたちからの大人に聞きたいこと「平和ってどういうこと？」

社会活動：平和を願う祈りを青年や高齢者、さまざまな方がささげる。

◆**和泉** ☎0725-41-5768 8/14(日)  
9:30～10:30 平和祈願ミサ

10:30～11:30 報告会

テーマ「友ヶ島を通して平和を考える」

お話：中高生より▶YOUTH 岸和田友ヶ島平和学習報告(約 80 年前の戦争を考える)

大学生▶五來夏鈴さんより ウクライナ支援ボランティア報告(現在の侵略を考える)

質疑応答 祈りの花束を作る。

◆**貝塚** ☎072-422-5639 8/7(日)  
10:30～

テーマ「難民家族の絆、見守ること、平和への道を。フランシスコ教皇様のメッセージ、日本の家族も見守ること、平和の道へ」

平和祈願ミサの中でビデオ上映

◆**泉佐野** ☎072-463-2971 8/7(日)  
8:00・9:30 平和祈願ミサ

YouTube 動画鑑賞「ウクライナの平和のためにともに祈りましょう」 ロザリオの祈りを唱える。岸和田地区ユースの活動で、友ヶ島でのデイ・キャンプに参加する。

◆**熊取** ☎072-422-5639(貝塚)8/7(日)  
8:30～ テーマ「難民家族の絆、見守ること、平和への道を。フランシスコ教皇様のメッセージ、日本の家族も見守ること、平和の道へ」  
平和祈願ミサの中でビデオ上映

◆**和歌山紀北** ☎073-425-1069(屋形町)

・8/6(土) 9:00～ 場所：屋形町聖堂  
広島原爆投下の日 平和祈願ミサ

・8/7(日)「互いに耳を傾けることの大切さと難しさ」について考える

11:45～ 屋形町聖堂 信徒館ホール発表と分かち合い

・8/9(火) 9:00～

長崎原爆投下の日 平和祈願ミサ

・8/15(日) 聖母被昇天 平和祈願ミサ

古屋教会 8:30～ 屋形町聖堂 10:15～

海南教会 14:00～ 今福教会 16:00～





# 7月の祈りの集い



シナピス主催第10回「祈りの集い～世界平和のために祈る～」を7月14日に行いました。

今回のサブテーマは「みことばから平和を考える」。下関で平和のつくり手としてさまざまな活動を続けている中井淳神父（イエズス会）が司式をしてくださいました。

ヨハネによる福音書 20 章 19 節～29 節を中井神父の体験と共に読み深めました。中井神父は平和のつくり手は強い人でなければならない、自分は神様の望む人になれるのかと思い悩んでいた時に夢の中でイエス様に出会い「どうして信じないのか、淳？どうして別の人間になろうとするのか、ゆっくりついてきたらいい」と言われたように感じたそうです。その後 10 年間貫く姿勢はイエス様の傷に留まること、傷のある人と一緒にいること、そしてそれを通して世界中の人と繋がり平和の活動をされていると話してくださいました。また今回の集いのために「平和のこころは虹の色」という

曲を作詞・作曲し歌ってくださいました。明るい曲調の歌に平和のつくり手として出来ることからやっついこうと思える勇気を貰いました。

この世界は不思議です。多くの人が祈りや平和について考え研究し行動していますが世界には戦争、人権侵害、疫病、災害が絶えず、真の平和に到達できていません。平和な世界をただ待っているだけではなく、私たち自身が人の傷に寄り添い癒し、平和の実現のために働くものとなれるよう祈りを捧げました。

最後に大阪明星学園グリークラブの生徒さんが歌う「あめのきさき」を聞き、参加者それぞれが平和のつくり手になるという事を心静かに考え、また祈りながら集いを終わりました。

大阪明星学園グリークラブのみなさん、マリア様へ祈る力強い歌声をありがとうございました。来月はもう一曲歌ってくださったものをお聴き頂く予定です。



## ◆中井神父様の活動の紹介◆



↑詳しくはこちらから

こどもとみんなの食堂「ロクスひよりやま」  
地域のこどもたちやあらゆる世代、国籍の方々を歓迎し居心地よく憩い、勉強ができる居場所やあたたかい食事を提供をしています。

寄付先▶▶ 山口銀行 本店 普通預金 5235518  
子どもとみんな食堂ロクスひよりやま

次回の集いは 8 月 11 日 20 時半からです。

テーマ：「平和旬間に祈る」

ID: 761 071 2034

パスコード: 123456





# シナピスホーム便り



酷暑の中、お越しいただきありがとうございました

山田 直保子

## 7月6日(水) ひまわりの種選手権とわらびもち



12時過ぎに常連のAさんが来て下さいました。大量の汗を流し、少ししんどそうにしておられたので、しばらくリビングで涼んで頂きました。

13時になって手作りのわらび餅をお出しすると絶賛、「美味しい美味しい!夏やな～」と喜んで下さいました。

先週ひまわりの種選手権の話をしたところ、イオンで殻を剥いた状態のひまわりの種を10袋も買ってきて下さり、先週話していたのは殻がついたものでこれではないと言うと、ショックを受けられておられました。せっかくなので、「みんなていただきますしょう」と声をかけました。



Aさんが入っておられる英語でお話するサークルの話で盛り上がりました。先生が英語を教えていくといったスタイルではなく、みんなで英語を使って日常の会話を楽しみ、わからない英語をみんなで教えあうといったスタイルだそうで、楽しそうでした。

もう一人のお客さまBさんも汗だくで来訪。「いやあ～暑すぎますね」と言いながらも熱い紅茶を注文されました。暑いときには暑いものを、が信念だそうで、余計暑くならないか心配しました。

わらび餅も大変喜んで下さり、Aさんが殻なしのヒマワリの種をたくさん買ってきてくれた話をすると、「殻付きなんて日本ではほとんど買わないですからね」、「僕も中国系の店でしか見たことない。あ、買ってこようと思って忘れた」と言われました。

この後みんなでヒマワリの種を食べました。ひまわりの種選手権の話をしてくれた移住者のCさんは、塩の味がついているので「味がう」とはっきり言いつつも「でも、ありがとう。あなたホントに優しい人です」。そう言われて気を悪くせず笑っているAさん。ちゃんと関係性ができていました。



入口に木製ホームロゴが完成!移住者のみなさんが、木が腐らないように工夫を重ねて作りました。みなさん多才です。

## 7月13日(水) 思い出のきな粉棒

余ったきな粉を使って、みんなできな粉棒を作りました。レシピを教えてみんな  
で練って伸ばしての作業。ナンを作ったことがある D さん、E さんは順調に作って  
いましたが、肝心のレシピを私が勘違いして間違っていて、しかも余りのきな粉で  
作りたかったので追加の買い物には行きたくない。一瞬みんなでどうしようとなり  
ましたが、味をみながら試作。美味しく味噌状にでき、良かったと言い合っている  
うちに、器用にねじり棒にしてくれました。



13 時過ぎに久しぶりに F さんが来られ、感染者数が増えてきたことや、また制限がかかるのではない  
かという不安などを話し合いました。

A さんも来られ、昨日、サクラファミリアで開かれていた死刑制度廃止の講演を聞きに行ったという話を  
されました。シナピス工房の作品を紹介し、寄付を募りに行っていた移住者の D さんに会ったという話を聞  
いて、D さんが「A さんにはご寄付いただけなかったけれど」と冗談で言い、笑い合っていました。F さんと A  
さんは死刑制度廃止について語り合っていました。

G さんがお友だちと一緒に来られ、ソファー席にお通しました。「やっとやっと来れました」と言って下さ  
ったので「暑い中ありがとうございます」とお礼を言いました。「ホーム便りに書いてあるミントティーにしま  
す」と注文され、E さんが屋上から摘んで作りました。世間話やビスカルドさんと活動(アフガニスタンの  
話)の話をしました。

皆さん、きなこ棒も喜んで下さり、特に A さんは「これは年寄りには最高やな」と絶賛。練り上げた E さ  
んも満足げでした。



お客さまが帰られた後、きな粉棒を食べたイラン人が、イランではこの  
味はお葬式の時に必ず出るお菓子と一緒に話してくれました。こどもの  
頃はそのお菓子を食べたいがためにお葬式に参加したこともあるらしく、  
一口食べて一瞬でイランを思い出したそうです。余っていたきな粉棒を  
「全部下さい、大事に食べる、懐かしい」と言っていました。

今月も、暑い中、カフェに足を運んで下さり、ありがとうございました。カフェ内にご寄付でいただいた本  
を飾り、ブックコーナーも作りました。みなさま、ぜひカフェで涼んでいってください。

\* コロナ感染症拡大防止のため、急きょお休みになることがあります。

お越しの際はお手数ですが事前にご連絡をお願いいたします。 連絡先 080-8940-8847



# 「ワタシタチハニンゲンド！」



在日外国人の人権を考える映画自主上映会のご案内

6月から7月にかけて、大阪・京都・名古屋で上映され、シナピスも紹介されている「ワタシタチハニンゲンド！」、上映終了後に見逃した方や他府県の方から見ることは出来ないかと多数の問い合わせがありました。

制作者の高賛侑監督から、より多くの方にこの映画を観ていただけるよう、希望の方に自主上映会をして下さってはとのご提案をいただきました。

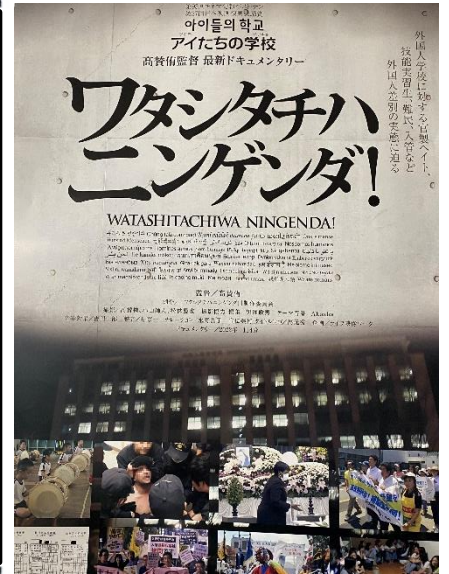
## <申し込み先>

カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス

電話:06-6942-1784 FAX:06-6920-2203

メール: sinapis@osaka.catholic.jp

上映には1回につき50,000円の使用料を頂戴いたします  
ご希望の方は電話、FAX、emailにてシナピスまでご連絡ください



## ◆映画をご覧になった方の感想が届きましたので、ご紹介いたします◆

パソコンが修理から返ってきたので開いたら”ワタシタチハニンゲンド”の案内が届いていたので知り合いのシスターたちに転送してそのまま私は十三に映画を見に行きました。

まずこんなことがホントに起こっていることに怒りを感じましたし、助けてくださいという人にこんなパワハラをしている役人に腹が立ちましたよ。そして外国からきている人にごめんねと言わなければと思えました。それも身近に難民の方との出会いがあったので強く感じました。シナピスの活動を応援しようと思っています。これを機会に入管が変わっていくように願っています。

親しい人々が出たのでうれしかったです。戦争とはいえ朝鮮人児童の学校まで迫害する日本人の狭さに、失望です。皆が住みやすい世界を目指してほしいですね。これからもよろしく。(HM)

「人を人として」私が協力団体として関わっているグループの一番のテーマです。この言葉に出会った頃は漠然としていた言葉も、さまざまな人に出会い、今では私にとって軸となりつつあり、自分が迷った時や自身の行動を確認する道しるべです。以前から聖母被昇天のシスターから、日本の外国人に対する差別や入管の体制などお話を伺っていましたが、行動に移すことができませんでした。今回映画を観たことで、「人を人として」とは全く逆の方向に進んでいて、人として大切にされていないと強く思いました。誰もが保障されなければいけない「安全で安心した生活」、「愛されている実感」が、脅かされていることはよくないことです。

「ワタシタチハニンゲンド！」と声を張り上げなければいけない、そんなことをさせてしまっていることを、私も含め多くの日本人がもっと知るべきと思いました。そのことのために行動をしていきたいと思っています。試写会后、教会の人を誘って映画館にも観に行きました。少しずつですが行動していきます。(青山美香)

この映画のなかで、知っている方々ができました。難民認定が難しいこと、送還拒否者を無期限に収容すること、技能実習生や在日コリアンの人権問題など、人間にとって当たり前のことが認められていないことがすごく残念に思いました。難民、移住者たちのためにお祈りしたいと思います。(SN)

「悲しい、はずかしい」これが第一の感想。入所者を動物以下に扱う日本の入管職員。

20年前、香港の刑務所にいた日本人女性と関わった。日本の刑務所に移る方向で動いた時、日本の刑務所のビデオを見つけた。入所者を蹴る、たたく、罵声をあげせる。その対応のひどさを見て、結局、香港の刑務所に残ることにした。この映画からみえた「日本の管理」は20年たった今も変わっていない事実にならなくショックを受けた。

日本における「差別」の歴史。「誰かが意図した差別」だと感じた。もっと歴史の「裏」を知りたいと思った。「人権後進国日本」から脱却するヒントがあるかもしれない。

ミャンマーやアフガニスタン、ウクライナ、中国の情報を茶の間で「人権無視だ」と批判しながら見ている日本人。まさにそのそばで、同じ苦しみを味わっている方々がいる。これをあらためて意識し、小さくても行動を起こさなければと感じている。この貴重な映画を制作して下さった方々と共に、わたしなりにまず、この事実を拡散すべきだと思った。特に行政に近いところで働いている友人知人に見ていただきたいと思っている。

(AO)

よくテレビや映画の時代劇でやくざが人の手足を縛った上、むしろでまいて紐でしばり、川に投げ込むシーンを目にします。まさしくこれと同じシーンをこのドキュメンタリー映画で見て、とても恐怖を覚えました。「国に帰れば殺される」と泣き叫んでいる外国人を出入国在留管理庁の役人は容赦なく彼を簀巻きにしています。簀巻きにされて強制送還中に死亡した人は23人に上っています。人命無視の行為に目を背けてはならないとこのドキュメンタリー映画は訴えています。名古屋入管で適切な医療を受けさせてもらえずネグレクトされて死亡したスリランカ女性ウィシュマ・サンダマリさんのことを気の毒に思います。人の命に目をそむけ、暴力とうそつきの集団は名古屋入管であることをこのドキュメンタリー映画は、気づかせてくれました。私は、マリアの賛歌「主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます」(ルカ 1:51-53)を祈るときに苦しんでいる在留外国人のことを心にとめるようにしています。最後に、このドキュメンタリー映画を製作して下さった高賛侑監督に感謝したいと思います。(PN)

映画を見て、「日本は平和な国であり、弱っていたりこまっている人がいたら、それが外国のひとつでも関係なしに助けてあげることができる」と思っていた考えが180度変わりました。

何も悪い事をしていない人たちを殺している今の日本人の考えを一刻も早く変えていく必要があると感じます。映画の内容で実際に日本人が暴力を与えていたり、外国人が苦しんでいる姿をみて本当に生々しかったし、胸が苦しくなりました。知らなかった世界を知ることができたし、視野もひろがったと思います。外国の人に暴力を振るったり、苦痛を与えるような人が、今後増えないためにも、私自身保育をする時に、「違う国の人も同じ人」「多様化社会」について考え子どもたちに伝えていき、幼い頃から文化が違って共存できることを知ってもらいたいと感じます。また、映画の中で実際の証言の中で全員が言っていた「私たちは動物ではない、人間だ」がすごく心に残っています。この一言から映画では表されていない苦痛を沢山感じてきたことが分かりました。こんな現状は今すぐになくなって欲しいと強く願います。だが、今現在も強制退去が続いていたり、入管での生活の悲惨さが続く中、私も少しでもつらい思いをしている人が報われるように、街のなかで募金が行われていたら参加してみようという気持ちに変わりました。また証言のなかで「神様が命をすくってくれた」と話している人がいました。神様は目に見えないが、そのかわり心で感じいつでも見守ってくれている存在だと改めて感じたので「見守られている」ことの意識を今後もしていきたいです。(丸谷瑛莉香)

## 「隣人を自分のように愛しなさい」(マタイによる福音書 22・39)

在日外国人が暮らしやすい社会を作るためには法制度が必要です。

同封の署名用紙『実現するまで毎年署名』をご一読ください。

神の前でワタシたち八同じニンゲンです。

隣人を大切に誰かが暮らしやすい社会の実現を目指し出来る事から一緒に行動をしませんか。

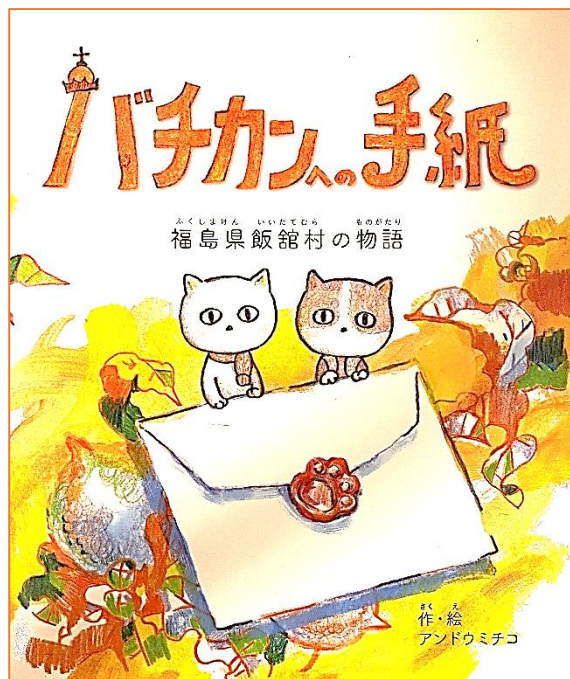


## みんなのけいじばん



今月も多くの方から寄付を頂きました。本当に有難うございます。  
写真以外にも電化製品や家具などの寄付も頂き、必要とする人に役立てさせて頂きました。

### ◆本の紹介◆



2011年3月11日、1000年に一度と言われている大きな地震がおきました。地震によって起きた津波とその影響で爆発した原発が福島県飯館村に甚大な被害をもたらしました。この絵本では被害の様子と、飯館村で暮らす猫のブン太とカオルがとった勇気ある驚くべき行動が描かれています。

1945年、日本に原爆が投下され多くの方が被爆しました。あれから77年経った今なお原子力という名の核兵器を持ち続ける日本に私たちが出来ることは何か。

絵・作：アンドウミチコ  
発売日：2022年3月11日  
発行者・発行所：Undo  
1,200円  
※購入ご希望の方はシナピスまで

### 第41回 日本カトリック正義と平和全国集会 2021大阪大会 分科会動画視聴のお知らせ

2021年11月22日、23日に行われた全国集会大阪大会の30の分科会のうち、戦争や環境問題、心の病などに関するいくつかの録画(動画)が限定公開されました。

視聴方法や申し込みは、右記QRコードからカトリック大阪大司教区ホームページ内、正義と平和大阪大会のページをクリックしてご確認ください。今後も順次動画を限定公開していく予定です。





# カトリック札幌教区正義と平和協議会 平和講演会のお知らせ

釜ヶ崎で日雇い労働者に学び、また日雇い労働者の生活向上に取り組んでいる、本田神父の『お大切に』の心と行動に基づく平和の構築について話していただく講演会のお知らせです。

日時: 8月13日(土) 13時半～15時半 ※参加無料  
 場所: 札幌教区カトリックセンター  
 札幌市中央区北1条東6丁目10 Tel: 011-241-2785  
 もしくは  
 Zoomによるオンライン  
 ▶▶▶右記QRコードより、8月12日までに  
 お申し込みください



カトリック札幌教区正義と平和協議会  
**本田哲郎神父 平和講演会**

『お大切に』の心と行動こそが  
 世界の平和をもたらす

2022年8月13日(土)  
 13:30～15:30

札幌教区カトリックセンター  
 札幌市中央区北1条東6丁目10 tel: 011-241-2785  
 + ZOOMによるオンライン お申込方法はフラス

参加費無料

人を根底から変える力は  
 社会的弱者の中にあり、  
 神の選びは  
 貧しく小さくされた者の側にこそある。

2012年10月に続き、本田神父様の二度目の講演です。  
 『お大切に』の心と行動に基づく平和の構築について  
 お話いただきます。

## 国際カリタス 総合的エコロジーに関する グローバルキャンペーン TOGETHER WE(ともに わたしたちは)



国際カリタスは2021年12月13日(国際カリタス創立70周年記念日)に各国のカリタスを通して全世界に向けて、総合的エコロジーに関するキャンペーンを3か年計画で開始しました。

このキャンペーンでは回勅『ラウダート・シ』と『兄弟のみなさん』などを通じて、教皇フランシスコが示された「すべてはつながっている」という考えに基づき、弱い立場にいる人や傷つけられた自然環境を、「あなたたち」ではなく「わたしたち」なんだという意識を持って互いをケアし大切にしよう「ケアの文化」を進めていきます。

キャンペーンはじめの本年は「気づきの年」(2022年1月～2023年3月)として、キャンペーンの理解を広め、個人やグループで現在おこなわれている活動や今後おこないたい活動やテーマを募集します。詳しくは同封の冊子 We are Caritas No.25 をご覧ください。

個人・キャンペーン賛同書は下記の URL  
 もしくは QR コードからもご覧いただけます  
<https://forms.gle/mEtJG1DZTXKyM4tV7>





## 第51回釜ヶ崎夏まつりのお知らせ

すっかり地域の風物詩ともなった夏まつりは、各地の飯場から釜ヶ崎に仲間たちが戻り、一時の休息を過ごす場です。また、単身高齢の仲間たちにとっては、語らいや楽しみの場でもあります。

釜ヶ崎はますますの高齢化の進行と人口減少、大都会の中の過疎地化が進むと同時に、新たな資本、人の流入で大きな変化が訪れはじめています。これらの変化にざわざわとした不安、生きづらさを感じている仲間も多いのではないのでしょうか。

私たちは釜ヶ崎の持っている強みや包容力を生かし、次世代を担う若者や、コロナ禍で失業・生活困窮・住居喪失を余儀なくされる人々を受け入れていける街づくりを目指していきたいと思えます。

半世紀に及び闘い取り、築いて来た歴史を続けるべく、これまでもそうであったように、夏まつりを通して作り出される繋がりが、人々の安心と生活を獲得していくきっかけになると確信しております。

今年も感染予防対策を考えながら出来得る範囲で開催していきたいと考えています。(※8月15日19時の慰霊祭は必ず行います)

第51回釜ヶ崎夏まつり実行委員会挨拶文より抜粋

### ◆スケジュール◆

12日(金)15時~20時

・前夜祭集会・個人演目

13日(土)15時~21時

・個人演目・のど自慢大会・盆踊り

14日(日)15時~21時半

・個人演目・スイカ割り大会・綱引き大会・労働者名人会・むすび紙芝居・梅田さん追悼企画・盆踊り

15日(月)15時~21時半

・ASA企画・個人演目・相撲大会・沖縄文庫・釜芸合唱部・慰霊祭・珠木奈美・河内音頭・盆踊り

※コロナ禍のため一部演目は取りやめになる可能性もあります。



## ◇◆◇ ベトナム人技能実習生リンさんの署名活動へのお礼と報告 ◇◆◇

2022年7月22日

ベトナム人技能実習生リンさんの裁判を支援する会

リンさんの最高裁署名にご協力頂いた皆さまに感謝申し上げます。  
上告趣意書とともに最高裁に提出しましたが、その後も全国的に支援活動が続け、おかげさまで多くの署名を集めることができました。  
審理が始まるか、最高裁判断を待つ最終局面に来ております。これまでのご支援に感謝しますとともに、審理の道が開かれますよう、ともにお祈りください。

### 1. 最高裁判所への無罪署名

4月11日、最高裁判所へ上告趣意書とともに、無罪判決への署名2,5912筆（累計86,612筆）と、127人からの一般意見書、6人の専門家らの意見書が提出されました。その後も支援集会、教会での署名活動によって9万票を越える署名があり、7月20日に最高裁判所へ追加分を提出しました。

裁判終了まで、署名は継続します。

### 2. 最高裁判所での審理の見通し

「私は自分自身のためだけでなく、すべての技能実習生や他の女性のためにも上訴することにしました」という上告趣意書に書かれた彼女の勇気ある訴えを、最高裁判所はどう受けとめるのでしょうか。

上告趣意書提出から、棄却決定が郵送されるまでの期間は、1ヵ月から4ヵ月程度であるため、リンさん刑事裁判は、この8月を経過して決定を送ってこなければ、裁判官の審理の対象となる可能性が強くなります。

あと少しで審理の道が開けると信じて、署名活動を続けています。



# 戦争と平和を考える②

## テレビ番組・YouTube の紹介



ご自宅にいながら平和を考える機会にぜひご活用ください。

**テレビ番組** \*放送日時は変更することがあります。ご覧の際は新聞やテレビ局ホームページ等でお確かめ下さい。

### NHKE テレ ETV 特集

「ナガサキの痕跡と共に生きて  
~188 枚の『令和原爆の絵』~」  
8月13日(土) 後 11:00 - 11:59  
NHK と長崎原爆資料館が共同で募った  
「原爆の絵」。原爆を体験した高齢者から  
のメッセージに耳を傾ける。

### NHK 総合

NHK スペシャル「新・ドキュメント太平洋戦争  
第2回 1942 大日本帝国の分岐点」  
前編 8月13日(土) 後 10:00 - 10:54  
後編 8月14日(日) 後 9:00 - 9:54  
80 年前に書かれた市民や兵士たちの日記や手  
記「エゴ・ドキュメント」をもとに、戦争を追体  
験するシリーズ。メディアが軍に加担し戦況が  
嘘で塗り固められていく過程が明らかに。



### NHK BS1 スペシャル

「証言記録 沖縄戦争孤児」  
8月14日(月) 後 10:00 - 11:50  
戦後調査した戦争孤児数に入れられて  
いない沖縄の戦争孤児。戦後どのように  
生き抜いてきたのか。番組で消息を追  
跡、初めて語られる証言の数々を聞く。

### 読売テレビ

24 時間テレビ 45 スペシャルドラマ  
「無言館」

8月27日(土) 後 9 時ごろ  
長野県にある、戦争で亡くなった画学生  
の絵を集めた小さな美術館設立  
のために奔走した青年の物語。

【監督・脚本】劇団ひとり

【主演】浅野忠信 詳細は日テレ HP から

[https://www.ntv.co.jp/24h-](https://www.ntv.co.jp/24h-drama2022/articles/3069npr61195as3eznlf.html)

[drama2022/articles/3069npr61195as3eznlf.html](https://www.ntv.co.jp/24h-drama2022/articles/3069npr61195as3eznlf.html)

上記 NHK の番組の詳細や他の関連番組は、ホームペー  
ジ内「今、戦争と平和を考える」からも見ることができます。

<https://www6.nhk.or.jp/nhkpr/post/original.html?i=34920>



## YouTube (ユーチューブ)

### 「シリーズ終戦特集」

この 10 年あまりの間に「報道ステーショ  
ン」などで放送した「シリーズ終戦特集」  
の動画。真珠湾攻撃や沖縄戦、中国に残  
った元日本兵、日系 アメリカ人の話など  
10 分から約 1 時間の動画が視聴できる。

(ANNnewsCH)

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLKeSk](https://www.youtube.com/playlist?list=PLKeSkVQhqpOpliG4OUbwUJ31wMtTWdGkKZ)

[VQhqpOpliG4OUbwUJ31wMtTWdGkKZ](https://www.youtube.com/playlist?list=PLKeSkVQhqpOpliG4OUbwUJ31wMtTWdGkKZ)



### 「戦後 76 年プロジェクトつなく、つながる」

昨夏 TBS が「戦争の記憶」を次世代に語り  
継ぐために報道各番組で放送した作品集。沖  
縄戦、特攻隊、原爆。戦争をめぐる記憶が世  
代を超えて語り継がれる。10 分以内の動画  
が多い。(TBS NEWS DIG Powered by JNN)

<https://www.youtube.com/watch?v=reZyg42RLwM>

[&list=PLhoNIZaJqDLbHawu-oKUIXSJMvihwknA7](https://www.youtube.com/watch?v=reZyg42RLwM&list=PLhoNIZaJqDLbHawu-oKUIXSJMvihwknA7)

上記 URL から入るか「終戦」、「戦争の記憶」などを入力して検索すると、様々なメディアが  
発信する戦争と平和にかんする動画を見ることができます。視聴するのにお金はかかりません。



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。

イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピス年間テーマ ～互いに耳を傾けよう～

# シナピスの風

\*掲載行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第151号 2022年8月7日発行

## 8月の祈り

天の父よ、  
 今日もニュースの中で、  
 ウクライナでミサイルの攻撃を受け  
 三人の小さい子どもが殺されたと報道されました。  
 毎日のように多くの人々のいのちが奪われています。  
 誰にこのようなことをする権利があるのでしょうかと、  
 痛みと憤りを感じながら考えます。  
 しかし、戦争が長引く中で  
 このような報道に慣れてしまう危険性を感じます。  
 そうならないように、犠牲者に目を向け、  
 その叫びを心に留めるしかありません。  
 8月に平和旬間を迎えるわたしたちは、  
 諦めず、平和のために働き続けたいのです。  
 いのちを奪い、すべてを破壊する戦争の愚かさを  
 心が痛むほど感じさせてください。  
 わたしたちは、微力ながらも今日、  
 平和を求め続ける決意を新たにします。  
 わたしたちの弱さを支えてください。アーメン。



シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

8月6日(土)～15日(月) 平和旬間2022 - 10 Days for Peace



### A Road to Peace : Listening to One Another

互いに耳を傾けて平和への道を



今年もさまざまな企画がされています。感染症、熱中症の対策をしつつご参加ください！

### オンライン祈りの集い

テーマ:「平和旬間に祈る」  
世界平和のために祈る～

メッセージ:服部大介神父(広島教区)

8月11日(木)20時半～(30分)



Zoom ID&パスコード(100名まで参加可)

ミーティングID: 761 071 2034 パスコード: 123456

## 第1回 絵画コンテスト作品募集

シナピス主催  
絵画コンテスト

次世代のための平和旬間の取り組みの一つとして「絵画コンテスト」を企画。平和についての思いを絵画で表現してみませんか。

対象:18歳以下の方

締め切り:8月31日(水)午後5時(郵送・持参とも) 図書カードを贈呈!!

発表:シナピスニュース10月号 \*詳細はシナピスまで

お待ちしています!

大聖堂ツアー

## シナピスカフェ

★毎週水曜日 13時ごろ～16時ごろ

8月の開催:10・24・31

★月1回土曜日 11時ごろ～16時ごろ

8月の開催:20日(土)

シナピスホーム:生野区中川6丁目6-23

☎:080-8940-8847



## 2021年正義と平和大阪大会 分科会録画(動画)限定公開!!



分科会について編集後の録画(動画)を限定公開します。著作権に抵触する部分や個人情報保護に抵触する部分は削除・編集しています。その他も準備完了後、順次公開をしていきます。教会のグループ学習等でご活用ください。

視聴方法や申し込みはこちら

カトリック大阪教区ホームページ内「正義と平和大阪大会」をクリックしてください。



## カトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」

8月の学習会

### 天皇制のAとΩ 最終章 『千代田一番一号のラビリンス』 ～地下迷宮の謎に挑む～

日時:2022年8月20日(土)14:00～16:00

場所:サクラファミリア4階会議室

発題者:太田勝神父(福音の小さい兄弟会)

「Part V 生前退位と「天皇制か共和制か」を話しましょう」から4年、今年3月出版の退位前の両陛下を主人公とした小説「千代田区一番一号のラビリンス」森達也著を取り上げて話し合いたいと思います。

連絡先:信徒の会 06-6939-9771 ※どなたでも参加可

## シナピス公式LINEが出来ました!

さまざまなお知らせや情報を発信!  
友達追加は下記QRコードから



## ボランティアさん募集中

- ★運転(送迎や荷物の運搬)
- ★ことば(通訳・翻訳)
- ★同行支援(役所や病院へ付き添い)
- ★工房(工作、裁縫好きの方)

シナピスまでご連絡をください  
お待ちしております!



## 支援のお願い

おかげさまでパスタ、体温計は沢山のご寄付をいただきました。日持ちのする食品、ハラル食品、不織布マスク、米などのご支援をお願いいたします。

感謝



カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス  
Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203  
URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」  
ご希望の方はシナピスまで  
お申込み下さい。

## 7月号同封の「経口中絶薬」承認反対署名について

読者の皆さまから沢山反響が寄せられました。ありがとうございました。ご意見をくださった皆様の声とそれを受けてシナピスの活動趣旨、ニュースレターの意向について話し合いましたことを、来月9月号で掲載いたします。ニュースが、いのちに向き合い、互いに耳を傾け語りあう場となりますよう今後も努めてまいります。

シナピス事務局

### <お詫びと訂正>

7月号シリーズ「助けあう」で記載に誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

(誤)「埼玉県四街道市」と「埼玉県野田市」



(正)「千葉県四街道市」と「千葉県野田市」

## シナピス

公式 LINE アカウントでは、  
さまざまなお知らせや情報を  
発信しています。下記 QR コードから追加してください。



### 活動へのご支援ご協力

よろしく願いいたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



難民移住移動者支援もよろしく願いいたします。



### 支援物資提供のお願い

米、缶詰、ハラル食品、レトルト食品

テレフォンカード、不織布マスク

お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784

### HPはこちらから▶

<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>



### あとがき

戦時体験の話を語らぬまま父は89歳で亡くなりました。子である私はただただ悔やんでます。私の口から子どもたちや孫に語り継ぐことができないのです。「戦争」に触れる機会が薄れ世代間に格差を生んでいくことが怖い。

何気ない日常で見え隠れする様々な出来事のなかで起きる小さな「暴力」の種に必死に水を注いで、いつか芽をだし「美しい戦争」という花を咲かせてしまおうことがないように「平和旬間」は私たちに、その気づきをチャンスかもしれません。(H)

### ◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等  
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ  
機関誌としてシナピスニュースを発行

### ◆大阪教区・社会活動委員会との連携

### ◆学習会研修会の企画

### ◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

### ◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、  
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

### ◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

### ◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

### アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区事務局内



### ●公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄長堀鶴見緑地線玉造 1 番出口より約 800m

### ●車でお越しの場合

阪神高速 1 3 号東大阪線法円坂出口

法円坂交差点南へ上町を東へ

### 活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



# 忘れない \* あきらめない カレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



## 2022年 8月 の 案 内

★印 カトリック関係

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

### 2022年 祈禱の信徒 祈りの意向 8月

教皇の意向：高齢者

ルーツと記憶を体現する高齢者の知識と経験が、希望と責任をもって将来を歩む若者の助けとなりますように

日本の教会の意向：社会的孤立の予防

分断されていく社会の中で孤立する人々、社会から切り捨てられていく人々に寄り添い、人とのきずなの中で生きる喜びを分かち合うことができますように

6 土	<p>★平和旬間 6日～15日 教区テーマ：A Road to Peace: Listening to One Another 互いに耳を傾けて平和への道を～7日(日)</p> <p>★戦争と平和写真展「沖縄、フクシマ、アフガニスタン」(2022.8.6-7 京都) 15時～20時 8月7日(日) 7時～15時 ■場所 カトリック河原町教会 地下ヴィリオンホール(京都市中京区河原町三条上る) ビデオ上映「用水路が運ぶ恵みと平和」(ペシャワール会) 6日 17時・19時 7日 12時・14時 主催：京都教区カトリック正義と平和協議会 問合せ：075-366-6609(月・火・木曜日10:00～17:00)</p>
7 日	<p>●『食の安全を守る人々』上映会 プロデューサー山田正彦さんのビデオメッセージあり■場所：エルおおさか606号 開場13時半 開会14時 入場料800円 主催：戦争あかん！ロックアクション 連絡先TEL090-5063-0073(平日は16時半以降、土日は午後可)</p> <p>●敗戦記念日を覚え、平和を求める集い「ウトロに出会い、ウトロで出会う」講師：斎藤正樹さん ■場所：解放県民センター4階ホール 14時半開場 15時開始 参加費500円 主催：日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会 連絡先TEL080-1400-4673(大山)</p>
8 月	<p>●ドキュメンタリーを視て語るつどい ■場所：大阪市立北区民センター 18時 会場費：300円 上映：「それでも声を上げ続ける～香港記者たちの闘い」(BS1スペシャル)、「検証コロナ予算77兆円」(NHKスペシャル) 主催：映像で現代を語る会 問合せTEL090-5151-9763(中森)</p>
9 火	世界の先住民の国際デー
11 木	<p>★シナピスオンライン(Zoom)祈りの集い「平和旬間に祈る」 20時半～21時 ミーティングID: 761 071 2034 パスコード: 123456 主催：シナピス 連絡先TEL06-6942-1784 ✉sinapis@osaka.catholic.jp</p> <p>●「子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2022」 ■場所：高槻市立生涯学習センター1階展示ホール 9時半～19時(最終日は17時まで) 入場無料 主催：子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2022実行委員会 連絡先：TEL090-6062-3764 facebook:peace2015ts</p>
12 金	<p>国際青少年デー</p> <p>●「子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2022」 ■場所：高槻市立生涯学習センター1階展示ホール 9時半～19時(最終日は17時まで) 入場無料 主催：子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2022実行委員会 連絡先：TEL090-6062-3764 facebook:peace2015ts</p>
13 土	<p>●「子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2022」 ■場所：高槻市立生涯学習センター1階展示ホール 9時半～19時(最終日は17時まで) 入場無料 こどもピースイベント朗読(和泉敬子さん)とスライド「おばあさんとうさぎたち」3F研修室 第1回公演11時～ 第2回14時～ 主催：子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2022実行委員会 連絡先：TEL090-6062-3764 facebook:peace2015ts</p> <p>●『『個』のひろしま 被爆者 岡田恵美子の生涯 被爆という体験を伝えていくこと』 ■場所：PLP会館4階会議室 14時半 講師：宮崎園子さん(フリージャーナリスト 元朝日新聞記者) 資料代：1200円(読者1000円)学生700円 主催：新聞うずみ火 共催：西日本出版社 連絡先TEL06-6375-5561(新聞うずみ火) ✉uzumibi@lake.ocn.ne.jp</p>
14 日	<p>●「子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2022」 ■場所：高槻市立生涯学習センター1F展示ホール 9:30～19:00(最終日は17:00まで) 入場無料 証言「満州引揚難民体験がつなぐ今」14時～16時 ■場所：高槻現代劇場文化ホール2階展示室 先着100名 話し手：高木洋子さん(82歳、高槻市在住) 入場無料 主催：子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本2022実行委員会 連絡先：TEL090-6062-3764 facebook:peace2015ts</p>



15	月	<p>●8.15天皇出席の全国戦没者追悼式典反対!!「さ戦争をするのか?!」元自衛官の立場から、戦争のリアル、PTSD、コストなど戦争のリスクを訴える! ■場所:エルおおさか南館・734号 13時半~16時半  講師:井筒高雄さん(ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン共同代表) 資料代800円(経済的に厳しい方は受付まで)  主催:参戦と天皇制に反対する連続行動 連絡先TEL06-6303-0449(関西単一労働組合)</p>
19	金	<p><b>世界人権デー</b>  ●アベ国葬反対 サイレントスタンディングin京橋 ■場所:京橋駅周辺 18時~19時  主催:おおさか総がかり行動実行委員会 担当:大阪憲法会議</p>
20	土	<p>★信徒の会8月学習会「天皇制のAとΩ最終章『千代田一番一号のラビリンス』~地下迷宮の謎に挑む~」  ■場所:サクラファミリア4階会議室 14時-16時 発題者:太田勝神父(福音の小さい兄弟会) ※どなたでも参加可  主催:カトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」 連絡先TEL06-6939-9771</p> <p>●平和学習会 平和を築き、命を守る社会をー「慰霊」と「戦争体験から平和を学ぶ」ー  ■場所:カトリック仁川教会 フランス館 13時半~15時半 1部「藤子16歳の夏」武居 勝敏夫妻(西宮市原爆被害者の会会長)  2部 戦没画学生慰霊美術館「無言館」の作品から考える 土器屋香代子(カトリック仁川教会信徒)資料代 500円(学生は無料)  主催:甲東平和を考える会 連絡先TEL0798-52-1719(代表 吉村平)</p>
21	日	<p><b>テロ被害者想起と追悼の国際デー</b>  ●連続講座「無国籍者の視座から」 ■場所:エル・おおさか5階視聴覚室 14時~  講師:丁章(チョン・チャン)さん 資料代:500円 リモート参加あり 主催:グループZAZA 連絡先:TEL090-6067-0560</p> <p>●STOP!辺野古新基地建設!大阪アクション結成8周年集会「軍事要塞化進む琉球列島『復帰』50年と沖縄の自己決定権」  ■場所:クレオ大阪東 ホール 会場13時半、開演14時 16時半からデモ 京橋解散  講師:新垣 毅さん(琉球新報編集局次長兼報道本部長)資料代:800円(学生、諸事情により経済的に苦しい人は要相談)  主催:STOP!辺野古新基地建設!大阪アクション 連絡先TEL06-7777-4935(市民共同オフィスSORA) ☒ stophenokosaka@gmail.com</p>
22	火	<p><b>宗教および信条に基づく暴力行為の犠牲者を記念する国際デー</b>  ●「君が代」調教NO!松田さん処分取消裁判(第9回口頭弁論)傍聴支援  ■場所:大阪地裁809号法廷(松田さんの本人専門があります)14時~15時 裁判終了後、報告集会を予定  呼びかけ:D-TaC「君が代」処分撤回!松田さんとともに~ 連絡先TEL090-1914-0158(松田) ☒ gakkoniminsyusyugiwo@yahoo.co.jp</p>
23	水	<p><b>奴隷貿易とその廃止を記念する国際デー [UNESCO]</b></p>
27	水	<p>●「憲法9条の会・関西」学習会 「岸田政権の軍事強化と外交姿勢」 ■場所:摂津市コミュニティプラザ3階コンベンションホール(1) 会場13時半 14時 講師:高作正博さん(関西大学法学部教授) 資料代:800円(学生500円)  主催:「憲法9条の会・関西」 連絡先TEL072-722-8366 HP:https://9jo-kansaijimdofree.com ☒ kenpo9kansai@gmail.com</p>
28	木	<p>●戦時性暴力をテーマにした作品 南澤あつ子一人芝居 「市長公室の木村さんが」 ■場所:スペースふうら 13時半開場 14時開演  アフタートーク 大橋ゆうこさん(社民党副党首) チケット 要予約・当日清算のみ 前売り・当日共に2000円  主催:「あの少女・木村さん」関西上演実行委員会 申し込み先:TEL 090-1223-7120(平日12時~18時) ☒ 2022fuura@gmail.com</p>
29	金	<p><b>核実験に反対する国際デー</b></p>
30	土	<p><b>強制失踪の被害者のための国際デー</b></p>
1	日	<p>●講演会「語り継ぐ満蒙開拓の史実」 ■場所:神戸学生青年センターウエスト100 18時半~20時  講師:寺沢秀文さん(「満蒙開拓平和記念館」館長) 参加費 1000円 ※ZOOMによる中継はありません。  主催:神戸・南京をむすぶ会 TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019 https://ksyc.jp/nankin/manmou-kaitaku.pdf</p>

メモ

